

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鶴巻児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 19,909人（前年度比 100.8%） 平成28年度 19,756人 平成27年度 19,760人 平成26年度 23,525人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 36,078千円 （ 24,724千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円）
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、避難訓練実施にあたっては、災害の状況、対象者、時間帯等、様々なケースを想定した訓練を行っている。	S
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。特に、児童館だよりに、こどもの環境伝言板「コーナー」を毎月掲載し、子どもの遊びや育ち、社会との関わり等について発信している。	S
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、日常の遊びを大切に、限られたスペースの中で自由に遊べる環境をつくることにも集団で遊ぶ場も毎日設定するなど、遊びの充実を図っている。キャンプ、親子交流会、その他の季節的な行事を保護者会とともに実施することを通して、親子の交流や保護者間の交流の機会となっている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘 ）による自己評価》
<p>地域に協力を仰ぎながら児童が繋がる活動を多く実施できました。また、児童の社会参画、自己実現を図る事業にも多く取り組み、積極的、能動的に参加する環境作りを進めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童健全育成, 子どもの社会参画 小学4年から中学生までの子どもボランティアを募集し、自主行事(子ボラとあそぼう、ハッピーアイス、おぼけやしき)の企画運営、児童館行事の補助などを行い、地域のリーダー育成を目的に主体的に活動することができました。他にも、結成8年目となる子ども劇団わんにゃんぶうの活動では、在仙の詩人武田氏による脚本演出の朗読劇を文学館と児童館で公演し、児童クラブ児童にとっては様々な行事でダンスや合奏を披露することで、自己肯定感を高める経験をすることができました。 ●地域交流 ハロウィンでは約30の施設、店舗、個人宅にお菓子配りを協力していただき、探検範囲の道路に町内会の方々に安全指導で立って頂くなど行事を通して交流を図りました。また、様々な行事の際に民生委員児童委員や児童クラブ保護者、地域ボランティアに協力を依頼し、行事を通じた地域交流、地域連携を図ることもできました。 ●子育て支援 お茶のみやおはなし会など沙龙的な内容のもの、製作やクッキング、講話を聴く行事を積極的に行いました。また、たくさんの方にご利用いただいている中でも、話しやすい関係性を築けていたため、育児相談も数多く受け付けました。次年度も潜在的に支援が必要な家庭に気軽に来て頂けるよう外部に出張するような企画も行っていきます。 ●放課後児童クラブ サテライト室も新たに開設し試行錯誤の中で進めた一年でした。サテライト室の環境設定が特に難しかったこと、2か所に分かれることで情報共有、連動した流れ作りに苦慮しました。個別支援や家庭的な配慮の必要な児童が多く、限られた空間で多くの児童を受け入れる難しさを感じましたが、より高い専門性を求められる現場の中で臨機応変に柔軟な対応をしていた職員を大いに評価したいです。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>遊びを通して自主性や協調性、社会性を育むことを目的とし、異年齢児童が気軽に参加できる多様な定例行事を行っているほか、小学生有志の児童劇団「わんにゃんぶう」は地域での発表を行うほか文学館でも披露するなど、芸術・文化活動に取り組んでいる。</p> <p>子育て家庭支援については、主任児童委員、保健師等と連携しながら実施している幼児クラブや年齢別のプログラム、ほっとサロンなどは、乳幼児をもつ母親同士の交流の場や気軽に育児相談ができる場にもなっており、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室